

# 歴史さんぽ

## 芦屋川にそって VIII

あしや子ども風土記

芦屋川は、市内でもっとも大きい川で、長さが6km余りあります。

この芦屋川には、九つの橋が架かっています。

地図を見ますと、その源は、芦屋の北西の六甲山地で、西宮市との境にある白山石宝殿辺りにあって、芦屋川本谷を南に流れ、奥山の石仏谷や黒越谷などの谷水を合わせ、水車谷を過ぎ、高座川と合流して川幅が広くなり、阪急芦屋川駅付近から真つすく南の芦屋の海に流れ込んでいます。

### ナウマン象の化石

昭和三十六年三月、芦屋から有馬まで、六甲山を横断する芦有道路の工事が行われていました。今の芦有ゲートの北約100mにあたる道路ぎわの崖の中から、大人の手のひらぐらいの大きさの化石が見つかりました。この化石は、ナウマン象と呼ばれた象の下あごの歯であることが分かりました。

海面からの高さが四百mぐらいいもある高い山の急な坂をどうして登ったのでしょうか。ナウマン象の化石は、日本各地で発見されています。芦屋市の近くでは大阪市・明石市・



復元されたナウマン象 (大阪市立自然史博物館)

★ノート 芦有道路出土のナウマン象下あごの化石は、現在、美術博物館の歴史資料常設展示室で展示されている。  
★参考文献 『新修芦屋市史本編』 芦屋市

### 旭塚

阪急芦屋川駅から北へ、川に沿って行くと山芦屋公園があります。さらに城山や高座の滝へのハイキングコースを登ると、右手に旭化成の社宅があります。(平成五年当時)

その庭に金網で囲まれた石組みがあります。これが旭塚で、今から三百年ほど昔の古墳(古墳)です。大きな花崗岩の石で組まれた横穴で、長さが十一m、横の幅が一・八m、高

さが二mの大きさです。この石組みの中から、土器や鉄の矢じりが見つかりました。



古墳入り口 (昭和36年発掘時)

★ノート 昭和三十六年二月、社宅の増築の際、京都大学が発掘調査を実施。石室の入口に石垣状の列石がみられた。  
★参考文献 『新修芦屋市史本編』 芦屋市

●平成五年に発行した「あしや子ども風土記 歴史さんぽ」を紹介いたします。ここでは、発行当時の原文に近い状態で引用しています。



壺・瓶・高蓋などの土器

★参考文献 『新修芦屋市史本編』 芦屋市

**サラ金・クレジット問題でお悩みの方、完済された方** 広告

◎債務整理の方法は自己破産ではありません。  
◎「任意整理」という方法は、取引が一般に5年以上あれば、借金がかかり減額できる可能性があります。(過払金)  
◎完済されている方でも過払金が生じていることがありますので、完済から10年たっていない方はぜひご相談下さい。

**費用分割可**

9月15日(月)  
10時～17時  
電話受付。

**甲東園法務司法書士事務所**

完全電話予約制 **0798-54-3259** ■電話受付時間：平日9時～18時  
阪急今津線甲東園駅徒歩2分 / コインパーキング(有料)が近くにあります。

**相続問題でお悩みの方** 広告

**遺言書の作り方・遺産分割の解決方法**

その他 土地境界のめもごと・測量  
会社設立をお考えの方

**相談無料**

JR芦屋駅前 ラポルテ西館1F104号  
**古居司法書士調査士事務所**  
**0797-31-2944**  
まずはお電話で 平日9時～17時

●「広報あしや」バックナンバーは、市ホームページ『広報あしやON LINE』でご覧いただけます。